

# 緑の相談所だより

No.89

発行 2004年8月1日 編集 財団法人旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

## 講習会のおしらせ

### 「秋の園芸作業」

と き 8月22日(日)  
午後 1:30~3:30  
講 師 フラワーマスター  
佐藤文男  
定 員 50名



### 「秋植え球根の植え付け・草花鉢上げ」

と き 9月12日(日)  
午後 1:30~3:30  
講 師 緑の相談所 相談員  
伊藤 征夫  
定 員 50名

### 「秋から冬への鉢物管理」

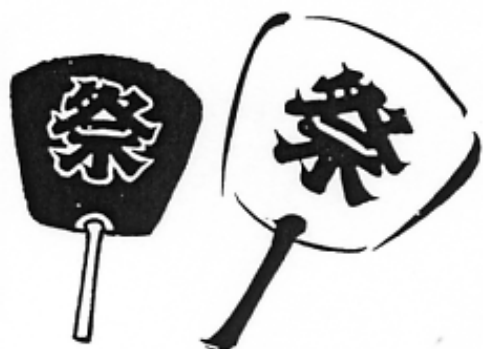
と き 9月26日(日)  
午後 1:30~3:30  
講 師 緑の相談所 相談員  
佐藤吉光  
定 員 50名

お申込み・お問い合わせは

TEL (0166) 65-5553

緑の相談所まで。

お気軽お電話ください。



### 緑のセンターまつり2004開催!!!

と き 8月8日(第2日曜日)  
午前10時~午後5時まで。  
ところ 神楽岡公園内 緑のセンター。

# 花言葉

8月に入ると旭川の夏・真っ盛りとなり、花壇や家庭菜園は最盛期を迎えます。ご家庭での今年の出来はいかがですか。

しかし、すぐに短い夏が終わり、9月の声とともに霜が降るまで、花壇の花々は一段と鮮やかな花色のハーモニーを醸し出します。これは旭川特有の朝夕の気温の差が効をなしているからです。

そこで、今回は夏秋の代表的な草花の花言葉を見てみましょう。

## ひまわり

夏といえば「ひまわり」。

主として北アメリカに約70種が分布する一年草または多年草で、日本には江戸時代に渡来したといわれています。

キク科ヒマワリ（ヘリアンサス）属、属名は「太陽の花」の意味。

また、太陽の方向を向いて咲くといわれ、向日葵の名がありますが、これは誤りといわれています。（太陽に向かって回らない。）

ひまわりと言えばゴッホの絵画「ひまわり」を思い浮かびますが、最近の園芸品種で「ゴッホのひまわり」「モネのひまわり」などと特別な品種名が付けられて切花の人気種となっています。また、道内では地域特産として「ひまわりイベント」の町や健康食品としての「ひまわり油」も皆様によく知られています。



ひまわりの花言葉　あなたを見つめる。「あなたを見つめていたい」

## コスモス

北アメリカ南西部から南アメリカにかけて、26種が分布している一年草または多年草でキク科コスモス属、特にメキシコに約20種があります。

属名はギリシャ語で「装飾、美しい」の意味で花色の美しいことにちなんでいます。栽培種ではコスモス、キバナコスモス、チョコレートコスモスの3種があります。

コスモスの渡来は明治中期で、「秋桜」の漢字をあて急速に全国へ普及したといわれています。最近では夏から秋の景観草花として大面積に植栽され、全国的に観光名所の一役を担っています。道内では滝川市や遠軽市が有名です。

コスモスの花言葉　乙女の真心「今のままの君でいて」



## リンドウ

日本、シベリア、中国、朝鮮半島に分布する多年草、または一・二年草でリンドウ科リンドウ属として世界に約400種分布し、日本各地にも自生しているといわれています。花色は淡青色から赤青色、紫青色が代表ですが、最近では赤や赤紫色などの種間雑種で園芸品種が作られています。

同じリンドウ科でユーストマ属（トルコギキョウ）は切花生産として普及し、市内でもたくさん栽培されています。

リンドウの代表的な品種では北海道のエゾオヤマノリンドウを親に「いわての乙女」として全国デビューしています。（ちなみに岩手県は全国一のリンドウ生産県）

また、リンドウの「淡青色」が幸せを呼ぶ青い花、「青」を身につけた花嫁は幸せになれるという西洋の言い伝えからプライドカラーにたとえられ、最近、前述のトルコギキョウの青色花が発表され話題を呼んでいますし、また「青いバラ」（ブルーローズ）も開発され世界的に「青色花」が注目されています。

リンドウの花言葉　元気になってね。「悲しむあなたを思う」



# アジサイ豆辞典

夏の庭を彩るアジサイは日本原産の花木で北海道から九州まで広く分布し、いろいろな種類のもので各地に自生しています。その中から選ばれて庭園の花木として定着して来ましたが、その中には、ハイドラランジアのように中国に渡り西洋で改良されて再び日本へ逆輸入されたものもあります。

今回はアジサイの際立った特徴などを簡単にまとめたいと思います。

## 1. 花の形状

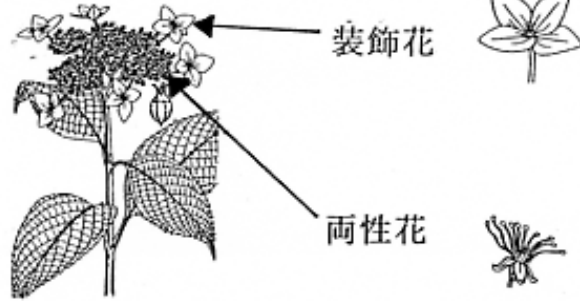
アジサイには次の二つの型があります。

### (1) テマリ型



アジサイ

### (2) ガクブチ型



エゾアジサイ

## 2. 花のつくり

上図のガクブチ型の花はその周辺の形と中心部の形が違います。周辺は大きな花びら四枚でできた花が見えます。しかし、これは花びらではなくガクが変化したもので花ではありません。これを装飾花と言われます。中心部は小粒の花がぎっしり詰まっているように見えます。これはめしべ、おしべをもつ両性花なのです。テマリ型の花はガクブチ型の周辺にある装飾花だけで出来ていると言う変わった花です。

## 3. アジサイの種類

アジサイには多くの種類がありますが大きく分けると次の三つになります。

### (1) ガクアジサイ

重厚で光沢のある葉を持ち、主にガクブチ型の花をつける。しかしテマリ型の花を付けるものもある。本来のアジサイはこの仲間です。

### (2) ヤマアジサイ

葉は薄くて光沢がない、白花が多い。エゾアジサイはこの仲間です。

### (3) ハイドラランジア

我が国から中国に渡り、更に西洋にまで渡って改良され再び逆輸入されたアジサイで色彩も鮮やかで草丈も小さく鉢植えで室内に向く。非耐寒性で北海道の外での越冬は無理。

## 4. アジサイの特性

### (1) 花芽の形成

翌年咲く花の芽が出来るのは、今年伸びた茎の先端から2段目以下の脇芽に9~10月頃に出来ます。したがって花後の剪定は花の下1~2段の間で行う。また、咲かなかった茎は剪定せず大事に冬囲いをする。

### (2) 花の色の変化

アジサイの花は七変化すると言われますがそれはアルミニウムイオンの吸収量と肥料の成分比によって変わります。

#### ①アルミニウムイオンの吸収量による色の変化

青い花・・・アルミニウムイオンを充分吸収した状態

用土が酸性 (pH 5.0~6.5) のときよくアルミニウムイオンを吸収する

赤い花・・・アルミニウムイオンを充分吸収出来ない状態

用土がアルカリ性 (pH 6.5~7.0) の時はアルミニウムイオンを吸収できない

このことは結局用土の酸性やアルカリ傾向によって花のいろが変わると言える。

#### ②肥料の成分比による色の変化

青い花・・・窒素：リン酸：カリ = 15 : 8 : 8

赤い花・・・窒素：リン酸：カリ = 14 : 8 : 15

上記のような配合比率の肥料の投与によって色の変化を見ることができる。

## 5. 栽培上の留意事項

(1) 今年伸びた茎を大切に保護し寒風などに晒さないように越冬させる。

(2) 秋や春先、茎が枯れたように見えるのが決して刈り取らない。

(3) 鉢植えのアジサイを購入して庭に植えようとするときハイドラランジアであるかどうかを確認する。ハイドラランジアの場合は庭植えには向かない。

## 八月の園芸作業

### 1 草花・球根

- ◆ペチュニアなどは枝を切って、株元から脇芽を出して再び花を楽しみましょう。また、花が終わったら種ができないうちに摘み取りましょう。
- ◆病害虫を防除するために、まず植物を健康に育てることが大切です。そのためには花後にリン、カリ分の多く含む肥料を与えましょう。
- ◆ユリ類は根元に直接日光が当たると生育が不良となりやすいのでマルチングしましょう。また花が終わっても茎葉を切っただけではいけません。

### 2 庭木・果樹

- ◆徒長枝は整枝・剪定しましょう。
- ◆緑枝ざしは上旬までに行いましょう。
- ◆アセビ、モクレン、カイドウ、ツツジ、ボタンなどの花木類、アンズ、サクランボ、リンゴ、ナシなどの果樹類は花芽分化の時期のため窒素肥料は施さずリン、カリを与えましょう。
- ◆庭木類の肥料も草木灰、硫酸カリなどカリ肥料を中旬と下旬と2回ぐらい水にとかして与え耐寒性を強化しましょう。

### 3 洋ラン

- ◆水やりは晴天時は早めに7～8時ごろたっぷり与え、シリンジは朝夕行いましょう。
- ◆カトレア類はシースが出かかった株は追肥を中止しましょう。
- ◆シンビジウム、デンドロビウム（ノビル系）は晴天では1日3回ぐらい水やりをしましょう。

### 4 金本才

- ◆シクラメンの夏を越した鉢は8月中旬をめぐりに植え替えましょう。
- ◆シャコバサボテンの茎節が2枚ぐらい成長した株は7月末で肥料を打ち切り水も控えめに与えて茎節を充実させ、花をつけやすくします。
- ◆カネノナルキも同様の管理をします。



松葉牡丹

## 九月の園芸作業

### 1 草花・球根

- ◆プランター栽培の場合は乾き過ぎ、過湿に注意し肥料は液肥1500倍程度で週1～2回与えましょう
- ◆季節の変わり目のため草花類は弱って病気や害虫の発生が多くなります。適する殺菌剤と殺虫剤を選んで散布しましょう。
- ◆インパチェンス、アキランサス、コリウス、ロベリアなど花壇の草花の一部を鉢上げしましょう。
- ◆トリトマ、アスチルベ、シャクヤク、ヘメロカリスなどの宿根草は株分けしましょう。
- ◆カンナ、アマリリスは霜の来る前に、掘り上げ無暖房の室内等で育てましょう。
- ◆ユリ類、スイセン類、クロッカス、シラーなどは中旬から下旬に定植しましょう。

### 2 庭木・果樹

- ◆オンコなど葉が茂り過ぎ風通しが悪くなるとカイガラムシがつきやすくなりますので、生育旺盛な株は枝すかしと小枝すかし剪定を行いましょう。
- ◆ボタンは気温が下がってくると地際近くから新根が出始めますのでリン、カリ肥料を土に混ぜて5～7cmぐらい土寄せを行いましょう。
- ◆リンゴの袋かけを行った場合は中旬～下旬に袋を破るか取り除きましょう。
- ◆8月に続いて生長を止め耐寒性をつけるためにカリ肥料を中旬、中旬、下旬と3回程度施肥しましょう

### 3 洋ラン

- ◆シンビジウムはバルブの充実期、最低気温が10度程度なら戸外に置きましょう。デンドロビウム（ノビル系）も同様に管理しましょう。

### 4 金本才

- ◆9月初旬から外にある鉢物の入室準備をしましょう
- ◆病害虫を持ち込まないために、2～3回薬剤散布をし、鉢の土の中のワラジムシ、コバエの駆除にはスミチオン800倍液に鉢ごと15分ほど浸す。

